年　　　　月　　　日　提出

駒 澤 大 学 長　殿

実験責任者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属：

氏名：

実験実施者

所属：

氏名：

動物実験報告書

　駒澤大学動物実験に関する指針に基づき、下記のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| １．承認番号 |  |
| ２．研究課題名 |  |
| ３．使用動物種・数 |  |
| ４．実験の結果(選択項目を■) | 実験完了・中止日　　　　年　　　　月　　　　日 |
| □　計画どおり実施□　一部変更して実施□　途中まで実施して中止□　未実施 |
| 結果の概要 |
| ５．成果（予定を含む）　　（得られた業績，例：雑誌論文，図書などについて，著者名，論文表題，雑誌名，巻・号，発行年等必要に応じて記載） |  |
| ６．自己点検(該当項目を■。該当しない場合は備考欄に「該当なし」と記載) | 項目 | 備考 |
| □実験は計画書に記載した場所のみで実施した |  |
| □げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は専用の手術室で実施した |  |
| □げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は無菌的に実施した |  |
| □侵襲性の高い大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は十分な知識と経験を有する者、あるいはその指導下で実施した |  |
| □存命手術において、術後観察および必要に応じた術後管理（術野消毒、術後鎮痛、補液、抗生剤投与、保温など）を実施した |  |
| □計画書に記載した麻酔および鎮痛処置を実施した | （■の場合）鎮痛、麻酔薬名： |
| □計画書に記載した安楽死法を採用した | （■の場合または別方法で実施した場合）安楽死法： |
| □苦痛度が高い実験において、人道的エンドポイントに沿った安楽死を実施した |  |
| □実験目的以外の動物の傷害や疾病が発生した場合、適正な治療、措置（安楽死も含む）を実施した |  |
| □動物実験に際して、動物に起因する人の傷害や疾病（アレルギーを含む）の罹患はなかった |  |
| ７．特記事項 |  |
| ８．委員会記入欄 | 審査終了: 　　　　年 月 日 |
|  | 審査結果　□　適合　　　　　□　条件付き適合（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　不適合 |